第16回

天草大陶磁器展

日本各地の伝統的窯元から若手陶芸家、天草大陶磁器展に100を超える窯元が大集合

AMAKUSA CERAMIC ART 2019

11/1金・2土・3祝日・4振替月・5火

入場無料

●メイン会場 天草市民センター・体育館 AM9:30～PM5:00（3日はPM8:00まで　最終日 5日はPM4:00まで）

http://amakusatoujiki.com　**天草大陶磁器展の詳細は** 天草大陶磁器展 検索

●天草の宿泊観光案内は　天草宝島観光協会へ ☎0969-22-2243　●お問い合わせ：天草陶磁器の島づくり協議会(天草市経済部産業政策課内) ☎0969-23-1111(代表)

手考足思

天草大陶磁器展は今年で16回目の開催になります。16年といえば生まれたての赤ちゃんが高校1年生になるまでの時間。ずいぶん長い時間のように思えますが、あっという間にも感じられます。天草大陶磁器展は天草陶石という世界有数の陶磁器原料を産するこの島を、原料産出地から陶磁器産地へという天草に住む人達の悲願を受けて始まったもので、年々規模が拡大し、今では秋の天草における一大イベントと言われるほど大きな催しとなっています。

昨年、天草の陶磁器振興という本来の目的に立ち返り「天草陶磁器の島づくり協議会」という組織を立ち上げ「天草大陶磁器展」もこの協議会の関連行事という位置付けとなりました。陶磁器の島を作るという本願がより明確になったと考えているところです。結果として昨年度より今年度にかけ、天草陶磁器の将来へ向けた様々な事業展開ができたと思います。

昨年から今年に関しての活動を挙げれば、天草大陶磁器展の開催はもとより、天草市内窯元の県外イベントへの出展サポート。福岡を始め様々な地域への出展に関し援助を行いました。天草陶磁器が香港の日本料理店『櫓杏』において合同企画展を行ったことは、特筆すべき事です。造形を志す若い学生を天草に招いての窯元研修。陶芸の先駆者に来島していただいての制作研修など、天草陶芸の将来にとって重要な取り組みも精力的に行いました。

天草大陶磁器展に関連した企画も積極的に行っています。天草大陶磁器展宣伝隊の熊本派遣や、器と天草の食とのコラボレーション企画である「天草・宝の器」など、多くの人たちが楽しみにしている事業も精力的に進めています。その他、観光資源としての取り組みである窯元マップの作成や、ドライブマップと連動したインターネットでのホームページや広報も、産地形成のために重要な活動です。

16才といえば元服を過ぎた頃…現代では立志の年頃となります。人間の16歳は将来についての目標が定まる時期かもしれません。今年の5月に平成から令和へ時代が移りました。新しい時代を迎え、天草や陶磁器のこれからを、改めて考える時だと考えます。天草はどこへ向かっているのか、陶磁器はどこへ進むべきなのか。キーワードは…過去を知り、今を感じ、未来を思うことではないでしょうか。

以前、天草大陶磁器展で基調講演をしていただいた筑紫哲也氏に「スローライフとスローフード」と題した話をしていただきました。当時はファーストライフとファーストフードへの批判が始まった時期。筑紫氏は時間や手間をかけず、簡単に最大の結果を得る人生や、高カロリーなものを頬張りながらカロリーベースで換算すれば事足りると考える食生活に大きな危機感を持っていて、スローライフやスローフードをテーマとした、本当に大切なことは何かを強く示唆された講演でした。

筑紫氏は陶芸家、河井寛次郎の言葉「手考足思…手で考え足で思う」「眼聴耳視…眼で聴き耳で視る」を示し、自分は常にこの言葉を糧として生きてきたと語りかけました。手を使い考え、歩きながら思う…ことでしょうか。目を凝らして景色を聴き、耳を欹てて視る。禅問答のように感じる人もいると思いますが、河井寛次郎の言葉は、作り手の私には受け入れやすい言葉です。

今年は新しい御代が始まり、新たな転換が始まっているように思えます。手軽で即席ではなく、ゆっくりと確実に、手間暇かけた焼物の島を作り上げようと思い始めています。それが天草に一番マッチしているように思えてなりません。

天草陶磁器の島づくり協議会 会長　**金澤一弘**

**AMAKUSA
CERAMIC
ART
2019**

■陶磁器の島 天草陶磁器コンテスト作品展

天草市民センター・展示ホール

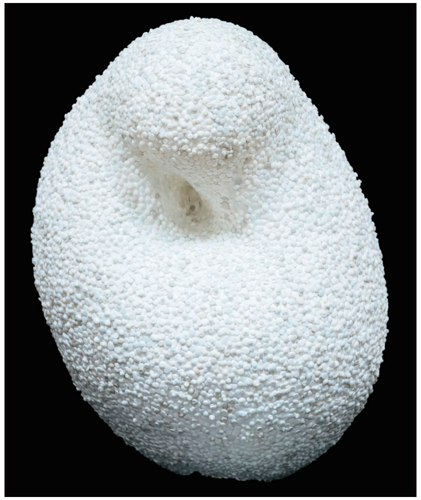
主催／天草陶磁器の島づくり協議会　共催／熊本日日新聞社

全国から応募のあった陶磁器の作品を展示。新しい才能の発掘と陶磁器の持つ可能性を御堪能ください。

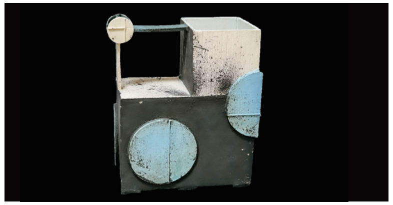
今年の課題品目

①天草陶石を使った作品　②注ぐ器・注がれる器　③令和の器・食卓の風景　④非日常のオブジェ

2018年 陶磁器の島 AMAKUSA陶磁器コンテスト 審査結果（敬称略）

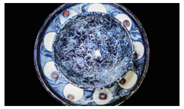


グランプリ
「どことなく4」
石川県金沢市 **上岡安里**



準グランプリ
「にほひける」
千葉県流山市 関沢清子

日比野克彦賞「紅彩掛分めん鉢」
福岡県朝倉郡 太田富隆



小川哲男賞「特別な一杯」
愛媛県伊予郡 和気生味

鶴田一郎賞「海の幸・山の幸」
鹿児島県鹿児島市 大畠 穏

藤原惠洋賞「Shell(組作品)」
福岡県福岡市 平野聖子

金憲鎬賞「非日常のオブジェ」
天草市 HIROKI KANAZAWA

来場者賞「天青・草緑」
天草市 槌本幸一郎

2018年 陶磁器の島 AMAKUSA陶磁器コンテスト 審査委員

審査委員長…
日比野克彦 アーティスト 東京藝術大学教授

審査委員…小川哲男 北山窯 日本工芸会正会員
鶴田一郎 イラストレーター
藤原惠洋 九州大学大学院教授
金憲鎬 陶芸家

天草大陶磁器展 初出展8窯元

C22 山口 博子

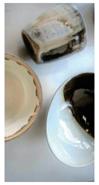
熊本 玉名郡長洲町永塩1612-3
TEL/0968-78-5631

天草や長洲町の、熊本の土を使い製作しています。日々の生活が少しだけ楽しくなるような器を作れたらいいなと思っています。本渡が地元なので、陶磁器展の間天草に滞在できる事も楽しみです。皆様にお会いできる事を楽しみにしております！

D44 筑前高取焼 元永陶苑

元永成洸

福岡 朝倉郡東峰村大字小石原883-6
TEL/080-5800-9023



東峰村小石原にて、昭和61年から父彰一が開業し現在に至っております。高取焼の技法と伝統を継承しつつ、現代に通用するあたたかい深みのある作品作りを目指しています。普段は高取焼の茶陶器をはじめ、くらしの器をそろえています。手にとって感じていただけると幸いです。

D54 小石原焼 マルダイ窯

太田万弥

福岡 朝倉郡東峰村大字小石原766
TEL/0946-74-2031

当代で15代となるマルダイ窯では、のどかな山里に囲まれた土地で代々続く釉薬づくりや技法を守りながら、見て楽しい、使って嬉しい、贈って喜ばれる器をと作陶しています。料理を引き立てる器、使いやすい器をご提案しております。

E65 練り上げの器 艸窯

草場瑛人

佐賀 西松浦郡有田町中樽2丁目28-14
TEL/0955-42-3846

磁器練り上げ技法による作品です。自ら彩色した色土を何色も用意し土を組み合わせたり、草花などの具象的な模様を土の中に練り込んだりして文様を表現しています。表裏一体の器は不思議な趣きで、文様が力強く表現されているものが特長の器です。全国的にも当窯しかない特異な器を出展致します。

E75 檜窯

安在健一

宮崎 延岡市行縢町633-14
TEL/0982-39-0661

平成元年、現在地宮崎県延岡市行縢町に築窯。雄大な行縢山の麓で赤い辰砂、緑の織部を中心に最近では青、茶、緑、黄瀬戸の四色を使った四彩の器を制作しています。平成15年には「宮崎の匠」、平成23年には熊本県の「くらしの工芸展」で熊本県賞を受賞しています。

F86 土筆房

藤村真由美

長崎 佐世保市野中町83-9
TEL/0956-49-5951

長崎県の佐世保市で女性2人で作陶しております。ふだん使いの器や花器、ランプシェード、陶人形など、個性の違う2人の作品を楽しんでいただけると嬉しいです。

F87 陶房 ふくなが

福永泰信

大分 国東市国見町岐部1190
TEL/080-5283-0243

大分県国東半島に移住して13年。自作の薪窯で、地元の木を燃やして作る焼締めの器。窯焚き後の灰を用いた深緑色の灰釉の器。そして和洋を問わず使える粉引の器。日々の暮らしを豊かにしてくれる器作りをテーマに作陶しています。今回初出展です。たくさんの出会いを楽しみにしております。

F96 武雄古唐津焼 康雲窯

山口康雄

佐賀 武雄市武内町梅野13649
TEL/0954-27-2745

康雲窯は佐賀県武雄市武内町という周囲を山に囲まれ、田園が広がる自然豊かな場所にあります。古唐津の流れを汲む武雄古唐津焼（古武雄）は、約400年の歴史があります。当窯では伝統的な器（古唐津）と新たな器（上絵・赤絵）の2つの対照的な器を作陶し、現代の暮らしに寄り添う器づくりを心掛けています。初出展です。

天草大陶磁器展 出展窯元

初出展窯元に関しましては
前ページに記載しております。

A1 アクセサリーコイケ
小池喜久子

熊本県天草市中央新町1-5
TEL/0969-22-3865

いつの時代にも女性にとって特別な存在であり続けているアクセサリー。気軽に身につけていただけるアクセサリーとして発表してから早や20年目を迎えました。“天草の白い宝石”これからも、どうぞよろしくお願い致します。

A2 坂下窯
佐藤　晃

熊本 玉名郡南関町上坂下19-1
TEL/0968-53-9760

普段使いの器から陶人形や野花の似合う小さな花入れなど、心を和ませ笑顔になれる品々を展示します。

A3 山陶園
山下智穂

熊本 阿蘇市西小園624-1
TEL/090-3323-9638

皆様こんにちは。ずっと桜こころ窯で出展させて頂いていましたが昨年末に夫婦二人の新工房「山陶園」を、OPEN致しました！！なので今年は、「山陶園」の窯名で出展しています。山陶園＝桜こころ窯ですよ～！！よろしくお願い致します。今年も皆様とお会い出来るのを楽しみにしています。

A4 朝陽窯
大前陽弘

京都 綴喜郡宇治田原町南上ノ山6-141
TEL/0774-88-3982

昨年初めて参加させて頂きました。初参加であることもあり、お客さんの反応も良く、楽しいひとときを過ごさせて頂きました。美味しい食べ物も戴き、是非、又参加したく思っております。

A5 宝泉窯
杉本遊炫

佐賀 宇陀市大宇陀上新1909
TEL/0745-83-0883

京焼に属しながら全くオリジナルの下絵ボカシ着色手法により、身近に咲く草花を日本画や京友禅のイメージで描いています。

A6 亀山 サ苗

熊本県天草市天草町下田南426-2
TEL/080-5282-7970

焼きものに絵を描きはじめてからもう20年以上がたつのですが、いつまで経っても上手くはなる気配はないのに描きたいモノはあふれ…惑わずの境地にはほど遠いシジュウの現状です。心痛む災害がつづくなかで、20年も同じことに向かい悩めるシアワセを大切に貪欲に描いていきたいです。

B7 内田皿山焼
木山健太郎

熊本県天草郡苓北町内田554-1
TEL/0969-35-0222

自社採掘の天草陶石と地元で採れる志岐粘土を主原料として天草苓北町で昭和45年から作陶しています。手書き染付や色釉等作品の多様さが特徴です。2019年秋の新作と共に皆様のご来場をお待ちしております。

B8 順能窯
ジュントウガマ
松下能也（トウヤ）

熊本県天草市浄南町3-54
TEL/0969-23-8122

視力を失い、失意の中で、陶芸に出会いました。今、物を作れる喜びをかみしめながら、使い心地のよい食器などの他に海をテーマに独創性のある作品づくりに取り組んでいます。残念ながら自分の目で確認できず、触覚だけを頼りに製作した作品です。皆様の目にどう映るかが楽しみです。

B9 洋々窯
小松野洋介

熊本 上天草市大矢野町登立14158
TEL/080-5251-4601

工房移転後5年目になりました。この「小さな工房」も「私」も、最近この地域の風景の一部になりつつあると感じています。この地域の「人々」に「感謝」です。

B10 森山陶器
森山　至

熊本県天草市五和町手野1丁目3077-2
TEL/0969-34-0140

森山陶器的、生活ノ器ノ展示。

B11 南阿蘇焼窯元
松山一朝

熊本 阿蘇郡南阿蘇村久石3092
TEL/0967-67-1230

南阿蘇村で作陶を始め約50年になります。『阿蘇の恵み×器』というテーマを掲げ作陶しています。天草大陶磁器展は1年の集大成と考え、日々過ごしています。今年もたくさんの方と出会える事を楽しみにしています。

B12 陶房恵泉
恵泉裕介

熊本 菊池郡菊陽町津久礼2966-5
TEL/096-232-6656

花や身近なものをモチーフに、素材や色・形で遊んだり、デフォルメした花器や生活雑器・アクセサリーも作陶しています。

B13 山百
森　信博

奈良 宇陀市大宇陀拾生165-1
TEL/0745-83-4081

山百は手を動かし、独創的なものづくりにこだわり続けています。今の生活により良いうるおいある時間を過ごす為の提案をします。

B14 陶祥窯
福岡祥浩

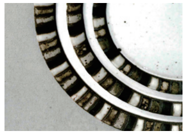
熊本 球磨郡錦町木上北402-22
TEL/0966-38-3914

今年も沢山の器達とお邪魔します。最近、飴釉という新色も仲間入りしました。御高覧くださいませ。

C15 陶房立神峡
平木孝幸

熊本 八代郡氷川町立神615
TEL/090-2960-7302

もう天草の季節がやってきました。どんどん一年が短くなってる気がするなぁ～。ちょっとあせります。また皆様にお会いするのを楽しみにしております。



C16 小代本谷 ちひろ窯
前野智博

熊本 荒尾市川登2131-74
TEL/0968-68-6459

熊本県北部より小代焼です。今年も「天草大陶磁器展」に出展してうれしく思います。陶磁器ファンの多い天草のお客様との出会いが毎年楽しみです。小代焼の魅力をお伝えできればいいな!と思っていますので、よろしくお願いします。

C17 有紗窯
元田翔子

熊本 菊池市重味2175-2
TEL/0968-27-1550

菊池の工房にて、天草大陶磁器展に向けて何を作ろうかとワクワク、ドキドキしながら仕事をしています。

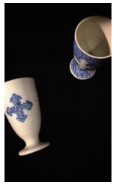
C18 あんあん堂
安藤健志

長崎 西海市西彼町平山郷1927-1
TEL/0959-28-1974

フェリーに乗ってオランダ村の近くから来ました。4回目の出店なので、だいぶ天草の街にも詳しくなりましたが、まだまだ知らない美味しいお店がたくさんあると思います。なので、おススメがあれば教えに来てください！！

C19 双子土龍
西　修平

長崎 東彼杵郡川棚町中組郷1310-7
TEL/0956-82-5309



双子の兄弟が長崎らしさを器に込めて、和洋中の世界観の中に独自のデザインで制作しております。

C20 陶じゃみん
指原邦行

大分 大分市坂ノ市南1-1-24
TEL/097-593-3360

「綺麗な器」と呼ばれるより「オモシロイ器」と言われたい 作るのがオモシロイ時に「オモシロイ器」ができるのでお客さんとオモシロさを共有できた時がこの上ない喜びとなります。

C21 やきも・の村
野村典子

熊本 熊本市北区清水亀井町42-49
TEL/096-343-9986

見ているだけで楽しくなるような作品をつくり続けていきたいと思います。

C23 山の口焼
辻口康夫

熊本県天草市本渡町本渡1755-3
TEL/0969-24-2072

その時々の暮らしにとけこむ
“普段使い”の「モノ造り」を続けていきたい。

C24 市山くじらや
市山富美子

熊本県天草市五和町手野1丁目2909
TEL/0969-34-1156

やきたてほやほやのうつわです。
お手にとっていただけたら幸いです。

C25 小石原焼 秀山窯
里見武士

福岡 朝倉郡東峰村小石原鼓1769-5
TEL/0946-74-2422

福岡県 小石原にて 藍の器を焼き続けております。地元 小石原の原土にこだわり、現代の生活に彩を与えられる器に焼き上げる… その事象にスタッフ一同 日々 研鑽致しております。

C26 日暮窯
江藤裕次郎

熊本 菊池郡大津町町167
TEL/096-293-3615

トルコブルーの器を作っています。

C27 小代焼 岱平窯
坂井博樹

熊本 玉名郡南関町宮尾470
TEL/0968-53-9245

岱平窯は1970年、父岱平が、古小代の里に思いを寄せて築窯しました。鉄分の多い小岱山の土を原料とし、使用している「割竹式登り窯」は素朴で力感ある作品、土のぬくもりが漂う作風を継承し、創造するにふさわしく、日々努力を重ねています。

C28 陶器 つる岡
鶴岡　誠

福岡 嘉麻市屏281-2
TEL/0948-57-1834

普段の生活の中で役に立ち、暮らしを豊かにしてくれるようなやきものを目指しながら日々作陶しております。どうぞお手にとって食卓を想像してみてください。

C29 陶房かんな
工藤晃一

福岡 宗像市自由ケ丘西町11-1
TEL/0940-32-5187

生活の道具として暮らしの中に必ず必要な陶器。和洋中を選ばず、ひとつひとつの物を想像力豊かに使い回せる。そんな器を目指し作陶しております。今回のおすすめはindustrial style cupです。工業的、金属的に製作しておりますが、すべて陶器製の1点物です。（シリアルNo.を刻印してます。）

C30 陶工房「Shin」
後藤　晋

福岡 宗像市朝野146
TEL/0940-35-3086

今回で10度目の出展になります。この歴史ある天草の地ですばらしい皆様との出会いがあったことを、心から感謝いたします。この想を込めて、今年もいざ参上いたします。

C31 小石原焼 上鶴窯
和田守夫

福岡 朝倉郡東峰村小石原鼓2514-1
TEL/0946-74-2097

今年もトビガンナやハチメを中心に展示します。よろしくお願いします。

C32 小代焼 一先窯
山口友一

熊本 玉名郡長洲町永塩1612-3
TEL/0968-78-5631

熊本県長洲町の土とワラ灰を使った青小代をはじめ、黒釉や白釉の器を制作しております。日々の暮らしが少し豊かになる様な作品を目指しております。

D33 工房 樹機
井上由香里

熊本県天草市栖宇土町1664-4
TEL/090-2502-3547

よ～～～し!!
今年も全力でガンバルもん!!

D34 丸尾焼
金澤一弘

熊本県天草市北原町3-10
TEL/0969-23-9522

飯碗30年使ってますとお客様に言われました。30年と言われる日が来るとは～
今日作った飯碗の道のりを考えると少し壮大な気持になったり緊張したり、物を作る面白さをかみしめています。

D35 Shige Yuko,Porcelain
木　ユウコ

熊本県天草市北原町3-10

今年も出展させていただきます。美味しいお菓子をのせる器、お茶の時間を楽しむための器などたくさんご用意して、皆様にお会いできるのを楽しみにお待ちしております。

D36 北岡 幸士

福岡 福岡市早良区重留4-13-25
TEL/092-804-0935

福岡で焼き物を作っている北岡幸士といいます。心豊かな暮らしの一助となるような焼き物を作りたいと願い、日々制作しております。

D37 幻窯 genyo
政岡　雄

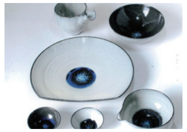
熊本 合志市合生3010
TEL/096-242-4950

直火・オーブン用の器を並べます。

D38 近藤 九心

北海道 札幌市手稲区前田一条2丁目6-10
TEL/090-1396-3467

オリジナルの青い宇宙の様な釉薬で器を作っています。お酒が好きなのでぐい呑みや酒器が多いです。北海道の札幌出身で、現在は全国の陶器市などに参加して活動しています。よろしくお願い致します。



D39 Studio Agata
阿形一郎

北海道 亀田郡七飯町東大沼24-952
TEL/080-2979-8080

お米のもみがらの中に器を埋めて焼成する炭化焼しめをやっています。黒色の生地をベースに銀色に窯変でるように焼いています。よろしくお願いします。

D40 中島陶芸
中島和雄

佐賀 武雄市山内町大野8493-1
TEL/0954-45-2508

田舎の詩というテーマで器の中に農作業風景野の花等を手書きで織り込み食卓が少しでも明るくなればという思いで創作活動に専念しております。

D41 KAZU窯
田口和代

熊本 熊本市西区二本木3丁目12-39-1
TEL/090-4986-9122

熊本市西区金峰山に工房を構えていますKAZU窯（かずよぅ）です。器やアクセサリーパーツetcを大自然の中で創作しています。今年も会場にて、選ばれたパーツに革ひも等お付け出来ます♪天草大陶磁器展を一緒に楽しみましょう♥♥♥

D42 備前焼 若宮窯
太田富夫

岡山 瀬戸内市邑久町大富531
TEL/086-943-6639

登り窯にて14日間たき、茶器・花器・酒器など、数々の作品を持って行きます。今回は食器を中心にしております。

D43 筑前小石原焼 マルワ窯
太田富隆

福岡 朝倉郡東峰村小石原892-1
TEL/0946-74-2248

どこか懐かしい。だけど新しい。ここからはじまる小石原焼の新しいカタチ。古の條の文様を次世代に継承し、現代に伝えるべく、様々なパターンの條文様を使った器を提案いたします。

D45 HIROKI KANAZAWA

熊本県天草市北原町3-10

#金澤宏紀 #hirokikanazawa #天草大陶磁器展 #2019 #令和元年 #今年もよろしくお願いします！

D46 北山窯
小川洋一

佐賀 佐賀市富士町下合瀬564-1
TEL/0952-57-2480

幼少のとき天草で生まれ育ちましたいまだにあの頃の海の香り、空のひかりなどなどフッと思いだします 作品の中にも知らないうちに天草のテイストが入っているのかもしれません。

D47 岩元陶房
岩元鐘平

鹿児島 鹿児島市皇徳寺台1-1-2
TEL/099-264-0132

今回も「見て楽しい」「使ってもっと楽しい」器を並べます。天草大陶磁器展、楽しまれてください。僕も楽しみます。

D48 国分焼
渡邉髙德

鹿児島 霧島市国分重久5761-2
TEL/0995-45-7287

いつもお世話になります。天草への出展とても楽しみにしています。日用食器から洗面ボール等まで日々作陶しています。野草をモチーフにした作品、色々取り揃えて持って行きますのでよろしくお願いいたします。

D49 白河以北
今井　純

滋賀 甲賀市信楽町勅旨2372-13

一緒に暮らせるうつわをコンセプトに、普段使いのあきのこない食器を心掛けて日々作陶しています。

D50 大畠　穏

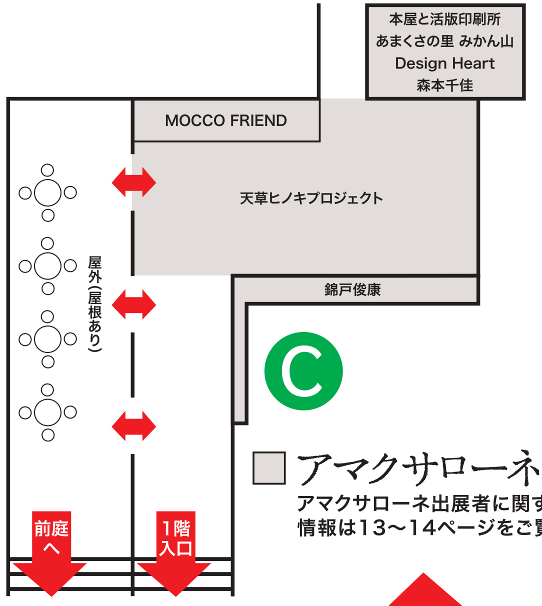
鹿児島 鹿児島市伊敷7丁目19-39
TEL/099-220-5844

2回目の出展となります。前回の器たちに加え、今回はオリジナルの土鍋を準備しております。大畠穏のブースに是非お立ち寄りください。お待ちしております。

D51 小石原焼 まるた窯
太田剛速

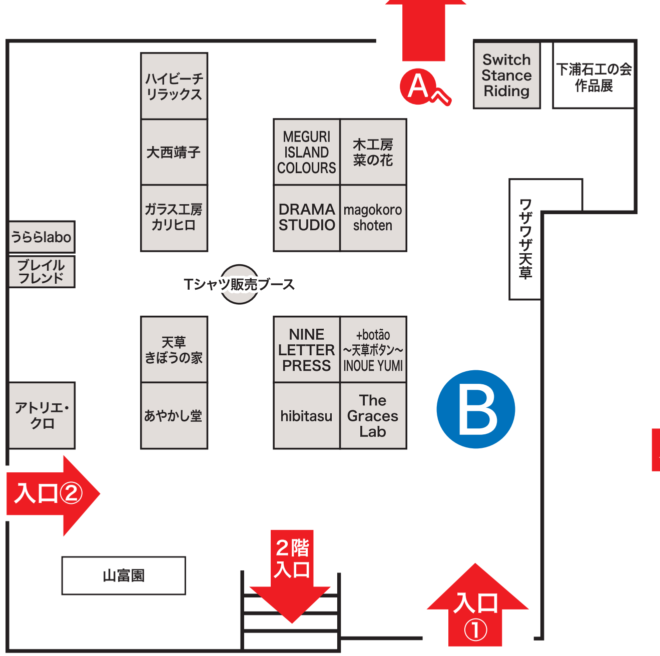
福岡 朝倉郡東峰村大字小石原666-3
TEL/0946-74-2220

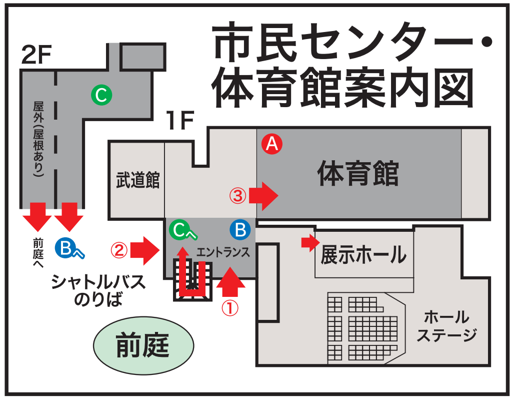
約350年続く小石原焼の長い伝統の中で、時代と共に移り変わっていく生活様式「用の美」も時代と共に変わっていく物。先人の匠の技と心を継承しながらも、新しい物つくりに挑戦し続ける職人でありたい。－「伝統は革新」－



□ アマクサローネ 出展者

アマクサローネ出展者に関する詳しい情報は13～14ページをご覧ください。





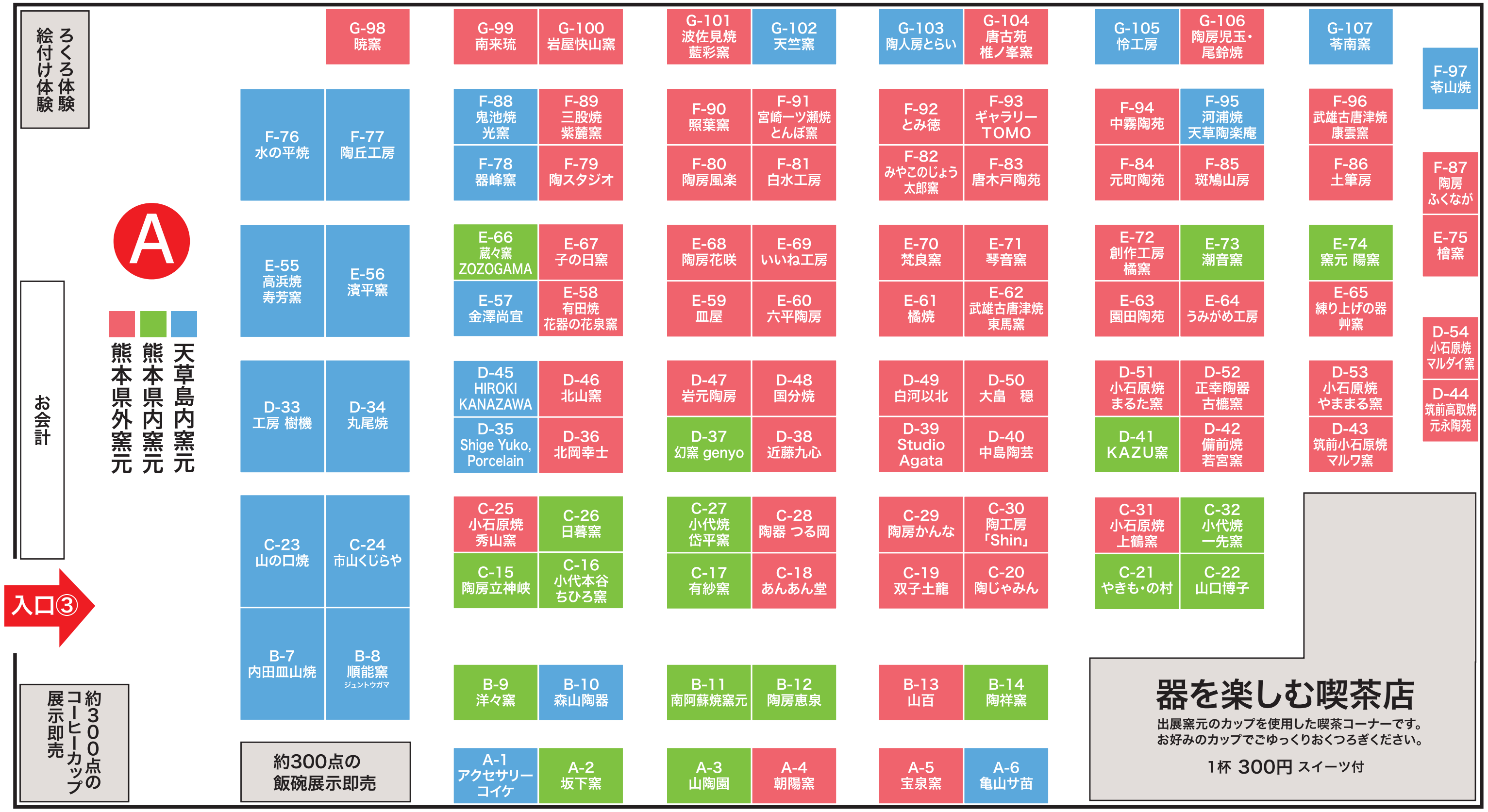
天草大陶磁器展…今年も見どころ満載

天草大陶磁器展の楽しみの一つは、全国から集った陶芸家と対話しながら作品を選べること。今年も県内は元より、全国から大勢の作り手が天草にやってきます。会場内では出展窯元のコーヒーカップを使い、天草で焙煎されたコーヒーを飲める「器を楽しむ喫茶店」が今年も店開きします。また、コーヒーカップと飯碗の展示即売コーナーも併設し、色とりどりの作品の中からお気に入りの1点を選べる展示を行います。

アマクサローネへの出展者は24名。陶芸以外の様々なクリエイターが天草にやってきます。こだわりの「本屋さん」やモノ以外の展示をする人たちなど、様々な趣向を凝らした作品と何かが集います。前庭のテントブースには、天草の代表的な食べ物や物産が22店舗出店。天草の美味しい昼食を堪能しながら、天草ならではのお土産を選ぶことのできる屋台村は、天草大陶磁器展の風物詩となっています。さらに前庭では2日、4日限定で天草の郷土芸能の披露など、天草だから見れるイベントが目白押し。

エントランスでは、天草の伝統的な民芸品の制作工程を見ることの出来る「ワザワザ天草」や、アンコール遺跡群のパネル展示を行う下浦石工の会・作品展が行われます。また、展示ホールでは、全国公募した天草陶磁器コンテストの応募作品が並びます。基調講演と伝統工芸の公演も展示ホールで開催。会期中の3連休2日、3日、4日では、天草大陶磁器展会場内において、陶磁器制作体験コーナーを併設します。ろくろの体験や焼物への絵付け体験。出来上がりが待ち遠しい人気コーナーです。小さいお子様連れの方には託児サービスも準備しています。人数に限りはありますが、こちらもご利用ください。

今年は令和になって初めての天草大陶磁器展。16回目の開催となります。平日と平日にはさまれた3連休・・・今年の天草大陶磁器展は5日間開催。お時間の許す方は、平日はゆったりとお越しいただき、3連休はじっくりとお楽しみください。天草を満喫できる展示会をと準備を進めています。参加窯元をはじめ、天草大陶磁器展スタッフ一同。皆様のご来島、ご来場を心よりお待ち申し上げます。



器を楽しむ喫茶店

出展窯元のカップを使用した喫茶コーナーです。
お好みのカップでごゆっくりおくつろぎください。

1杯 300円 スイーツ付

託児サービスあります。

時間：9：30～16：00
場所：天草市民センター・第3会議室
※先着順・受け入れ人数に限りがあります。

ろくろ体験・絵付け体験

日時：11/2（土）・3（日・祝）・4（月・振替） 10：30～・14：00～
場所：天草市民センター 体育館

初めての方でも安心。出展窯元のスタッフが優しく指導します。お作りいただいた作品は焼き上げてお渡しします。

先着20名。体験料は1,000円 ※送料は別途必要となります。

器を楽しむ喫茶店で味わうプロの味

木本智子氏

茶道、和のモノ、手仕事のモノ、美味しいモノ、美しいモノ、伝えて行きたいモノ、大切にしたいモノ、等を楽しく共有できたらと思い、茶道を切り口とした活動を行う。表千家講師。表千家茶道教室。日月茶会主宰。

日時：11/2（土） 9：30～17：00
1杯 500円（お菓子付）

金 憲鎬氏

瀬戸の陶芸家、金憲鎬氏はコーヒーカップの製作で評価が高いですが、コーヒーを抽出する技術も確かなものがあります。Kim・Caféをお楽しみください。

日時：11/2（土） 9：30～17：00
1杯 500円（スイーツ付）

佐野俊郎氏

日本コーヒー文化学会会員
おいしい味わいと美しい見た目を演出する“プロの技”を間近で体験することができます。

日時：11/3（日） 9：30～17：00
1杯 500円（スイーツ付）

D52 正幸陶器 古樵窯
木下　弘

長崎 東彼杵郡波佐見町井石郷1654-8
TEL/0956-85-4691

手書きや手作りの良さを心がけて作っています。生活の中でいつも使う事の出来る器を心がけて作っています。

D53 小石原焼 やまる窯
梶原日出

福岡 朝倉郡東峰村小石原716-8
TEL/0946-74-2817

福岡県の東峰村から毎年出展させて頂いています。小石原は標高500mの所にあり、その中に47軒の窯元が点在する自然豊かな所です。伝統を守りながら現在の食卓に合う作品作りを目指しています。釉薬も田んぼで藁を焼くところから手作りで作って います。手作りの温もりを感じて下さい。

E55 高浜焼 寿芳窯
上田萬寿夫

熊本県天草市天草町高浜南598
TEL/0969-42-1115

ほのかに青白い素地に、藍色で描かれた海藻模様「海松紋・みるもん」は、江戸中期に起源を持ち、時代の奔流に左右されることなく今日まで続いています。頑なに凛とした作風に、その目で、その手で直に触れて下さい。

E56 濱平窯
江崎正博

熊本県天草市志柿町5494-1
TEL/0969-23-3915

『日々の暮らしの中にあって
ながめて風合いのある
使って心いやされる器でありたい。』
と心がけながら作っています。特に、天草の土味にこだわり、コーヒーカップは、天草の土のみで作ってみました。

E57 金澤 尚宜

熊本県天草市北原町3-10
TEL/0969-23-9522

どういう風に焼き上がるかわからない。わからないこそ色々やってみたくなる。焼きあがって、初めて見る色や形に感動する。今年はどんな風に焼き上がるかな?と、とてもワクワクしています。よろしくお願いします。

E58 有田焼 花器の花泉窯
山田富士男

佐賀 武雄市山内町大字宮野23451
TEL/0954-45-2059

有田地区で唯一花器を専門に作陶しております。手づくりのぬくもり、色あいのバランス。大物から小物まで、ぜひお楽しみください。

E59 皿屋
川本太郎

佐賀 佐賀市富士町古場岳
TEL/0952-57-2983

昨年、この会場前の野球場の脇に植えてあるオリーブの実がタワワに生ってるのに、年月の早さを感じつつ、一粒いただきました。エグうございました。その後、口の中が腫れました、突戸ジョーの様に。お気をつけください。今年はその実でオリーブオイルを作って会場でふるまおうかと思ったり、思ってなかったり。

E60 六平陶房
六平

佐賀 武雄市西川登町小田志16912-3
TEL/0954-43-9292

天草陶石を使用し、白磁、青白磁による食器花器、小物から大物などの作品を作陶しております。

E61 橘焼
堀場紘一

宮崎 宮崎市鶴島3-155-1 セイザンハイツ高松604
TEL/080-6414-4136

毎回の事ですがお客様のお求めやすい価格と使いやすさのいい品物がモットーに作品作りに励みたいと思っております。楽しみにお客様にお会いしたいです。

E62 武雄古唐津焼 東馬窯
馬場宏彰

佐賀 武雄市山内町鳥海21096-1
TEL/0954-45-3308

佐賀県武雄市で作陶しております東馬窯の馬場と申します。武雄古唐津焼の伝統技法を用いて食器・花器・茶器・灯籠等を制作しております。皆様とお話でもしながら楽しい陶磁器展にしたいと思います。皆様のお越しを心よりお待ち致しております。

E63 園田陶苑
園田貞哉

宮崎 小林市野尻町紙屋2919
TEL/0984-46-0759

前回初めて出展させていただいて、会場の雰囲気が良く、お客さんの反応も良いと感じました。今年も、今までの作品の他に新たに試みたものも出展しようと思っております。

E64 うみがめ工房
金　辰雄

福岡 糸島市二丈福井787
TEL/092-326-6166

5回目なので宜しくお願いします。

E66 蔵々窯 ZOZOGAMA
許斐良助

熊本 上天草市大矢野町維和上1005
TEL/0964-58-0990

開窯して29年目になりました。陶器（粘土）制作がスタートでしたが、1999年頃から天草陶石（磁器）に変更して19年目になりますが未だに悪戦苦闘中です。

E67 子の日窯
山口和利

佐賀 伊万里市立花町1717-1
TEL/0955-23-2307

グリーンのイラホや黒マット等をすこしづつバリエーションを増やし提案したいと思っています。

E68 陶房花咲
泊　秀典

佐賀 嬉野市嬉野町大字岩屋川内乙2183
TEL/0954-43-7507

嬉野のお茶畑に囲まれた工房で夫婦二人で作陶しています。ホッとする空間を演出する器や干支を初めとする動物の陶人形やお地蔵様をお持ちいたします。

E69 いいね工房
藤瀬稲子

佐賀 鹿島市大字飯田甲4784

佐賀の有明海と山に囲まれたのどかな所で、夫婦2人で作陶しております。今年も使ってたのしいやきものをたくさん持って行きたいと思っておりますので、どうぞお越し下さい。

E70 梵良窯
田中良幸

佐賀 杵島郡白石町牛屋1386-1
TEL/090-4355-1163

土は地元の山で掘り、釉薬の灰は雑木を燃やした灰を使い、焼成は登り窯です。ひとつひとつにこだわりながら、制作しております。

E71 琴音窯
谷山　卓

長崎 長崎市琴海戸根原町1529
TEL/090-2968-6099

自然の植物の灰から作った釉薬（イガグリ、アスパラ、モクレン等）で作った、素朴な色合いの食器を作っています。

E72 創作工房 橘窯
松永　剛

佐賀 伊万里市立花町949-5
TEL/0955-23-2077

白と黒を基調にシンプルで使いやすい器つくりをしています。手に取ってゆっくりと見て下さい。

E73 潮音窯
中林良栄

熊本 熊本市東区東本町2-17
TEL/090-7982-5218

修業時代を含め、作陶歴が32年になりました。作風を決めています。熊本の天草、阿蘇をイメージしたブルー、グリーンと白が基調です。現在天草陶石を感じさせる色合いの器を追及中です。まずお客様が欲しがって下さることを考えて作陶します。

E74 窯元 陽窯
高島李恵

熊本 阿蘇郡南阿蘇村河陽3427
TEL/090-9471-8887

南阿蘇村に登り窯を築き16年目となりました。築窯以来、草木の灰の釉薬を作り薪で器を焼いています。その風合いを生かしつつ使い勝手は損なわないよう心がけてデザインを考えています。

F76 水の平焼
岡部祐一

熊本県天草市本渡町本戸馬場2004
TEL/0969-22-2440

元号が令和へと変わった今年、当窯元でも世代交代が更に進みました。時代を超えて継続していく事の難しさをひしひしと感じつつ、続けていくべき事と変えていくべき事、うまくバランスを取りながらこれからも焼いていきたいです。

F77 陶丘工房
末石昌士

熊本県天草市五和町御領7005-1
TEL/0969-32-2502

少しずつ変わっていく時代。今年は“令和元年”となり毎年同じようであり、少しずつ変わってきている陶磁器展。私は、どれだけ変われたのだろうか?皆様とお会いできることを楽しみにしています。

F78 器峰窯
岡部俊郎

熊本県天草市本渡町本戸馬場2004
TEL/0969-22-2440

地元産の天草陶石を使い白磁・染付等を作っています。日々の生活に自然となじむうつわ作りを目指しています。今年もよろしくお願いいたします。

F79 陶スタジオ
崎村　久

宮崎 都城市高城町有水2101
TEL/0986-59-9780

白色を中心に、シンプルで使いやすいうつわを作っています。艶を落とした独自の釉薬は、持った時の手触りにもこだわっています。ぜひ、手に取ってごらんください。

F80 陶房風楽
池下直人

宮崎 宮崎市本郷北方4423-102
TEL/0985-56-4603

手彫りの文様とフォルムの美しさを意識して制作しています今年は新しい仕事をお見せできればと思うのですが。

F81 白水工房
瀧本徳郎

宮崎 児湯郡都農町大字川北11786-3
TEL/0983-25-5946

鉄や木灰の釉を施した器、焼き締めの急須などをお届けできたらと思います。会場でお待ちしております。

F82 みやこのじょう 太郎窯
岩崎真一

宮崎 都城市吉之元町5105-17
TEL/0986-33-1230

使いやすい器をモットーに、霧島の麓でコツコツと作陶しています。今年も、新作を持って、天草へ出かけていきます。皆さん、お待ちしています!!

F83 唐木戸陶苑
甲斐英俊

宮崎 児湯郡高鍋町上江7125-32
TEL/0983-23-1794

使い勝手の良い、軽くて明るい色合いの現代クラフト調の器です。

F84 元町陶苑
日高幸一

宮崎 東諸県郡綾町大字南俣65
TEL/0985-77-2066

器は脇役でありながらなぜか、存在感を感じられるものを。

F85 斑鳩山房
山本閑象

大分 国東市安岐町明治斑鳩山
TEL/090-1925-5106

500年以上前に存在した、最も古い型の「穴窯」を再現し、薪だけで焼成しております。主に焼締陶の製品を造っております。穴窯は、大変効率の悪い窯ですが、そこから産まれたものには、近代的効率の忘れ去ったものが、きっと残っているものと信じ、昔ながらのやり方を踏襲して、日々制作に励んでおります。

F88 鬼池焼 光窯
野崎秀登

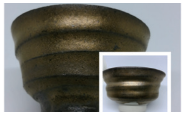
熊本県天草市五和町鬼池839-2
TEL/070-4098-2294

昨年から従来の「三島手」や「粉引」に加え、トルコブルー系の釉薬を使った品物を作り始めました。ボランティア活動で滞在したカリブ海の島国、ドミニカ共和国の海とラリマール（宝石）の色にインスパイアーされた色です。天草の魚たちとの組み合わせも試行中です。

F89 三股焼 紫麓窯
山下盛親

宮崎 北諸県郡三股町長田3608
TEL/0986-52-3603

宮崎県霧島山の麓、三股町の焼物屋です。宮崎の自然に学び「自然にそのまま」の心で娘と2人で作陶しています。「酒を楽しむ器」をテーマに展示します。新燃岳火山灰を使用した金色に輝く作品もご覧ください。天草の御領石でも研究中です。



F90 照葉窯
窪田健司

宮崎 都城市下長飯町693-1
TEL/0986-39-6922

毎年天草大陶磁器展に参加出来ること、そしてお客様にお会い出来ることを楽しみにしております。今年も変わらずよろしくお願いします。

F91 宮崎一ツ瀬焼 とんぼ窯
古川国広

宮崎 宮崎市佐土原町下田島4271
TEL/090-3414-3757

今年も、天草大陶磁器展に出展させて頂きます。お客様や、出展窯元様達とお会いするのが楽しみです。

F92 とみ徳
冨岡徳昭

宮崎 児湯郡川南町川南23589-1
TEL/0983-27-6346

毎日使って使いやすく使って楽しいをコンセプトに日々作陶しております。

F93 ギャラリーTOMO
飯井智子

宮崎 宮崎市北川内町乱橋3599-1
TEL/0985-54-3404

私共の作った器でカフェを営業しており、20年になります。オシャレな器に料理を盛って、ランチをやっております。どうぞお手にとって、味わっていただければ幸せです!!

F94 中霧陶苑
森元良三

宮崎 都城市山田町山田4987-2
TEL/0986-64-0448

土と炎の美しさに心魅かれ　この土地都城にて陶芸を仕事としております。料理が映える白磁の粉引が主で使いやすく買いやすい茶碗屋です。

F95 河浦焼 天草陶楽庵
坂本昭彦

熊本県天草市河浦町新合2068
TEL/0969-76-0777

天草の自然の材料にこだわり、使い勝手の良い器を心がけて作っています。普段使いの器をぜひ見に来てください。

G97 苓山焼
森野謙一郎

熊本県天草市本町下河内680
TEL/0969-22-5339

昭和59年4月から陶芸作業を取り入れています。可能な限り利用者の手によってなされたものです。一般のプロ作家にはおよびませんが、精魂込めてつくる姿をご想像いただき、ご愛用の程よろしくお願いいたします。

G98 暁窯
松崎芙美子

福岡 三井郡大刀洗町栄田866-6
TEL/080-1708-6437

天草陶石を使い白磁の食器、花器などを制作しています。毎年、天草大陶磁器展を楽しみにしています。

G99 南来琉
竹田真剛

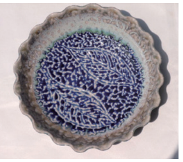
山口 山口市朝倉町8-72
TEL/083-922-7877

青い空・青い海を連想させてくれるトルコブルーの釉薬を使い食器、花器等を制作しています。癒しのトルコブルー、ぜひ手に取ってご覧下さい。

G100 岩屋快山窯
梅津敏英

山口 光市室積村1629
TEL/0833-78-0399

塩釉の作品を創り始めて20年。今年も窯を作り直して頑張ります。



G101 波佐見焼 藍彩窯
谷村　学

長崎 東彼杵郡波佐見町村木郷876-2
TEL/0956-85-5540

波佐見焼藍彩窯では、天草陶石の上質磁器に藍色の呉須をベースにすべて手描きで絵付をほどこしております。毎日の料理そして食事が楽しくなる器作りをめざしております。

G102 天竺窯
住田啓一郎

熊本県天草郡苓北町都呂々6118-2
TEL/0969-36-0860

天草の特産品として作陶していきます。天草のおみやげ品として使って頂ければ幸いです。

G103 陶人房とらい
山田也有

熊本県天草市河浦町新合2014-1
TEL/080-6555-0124

天草は、陶磁器の島
作品は、天草の材料で
こんな、のどかな場所（ところ）
で、つくってます。

G104 唐古苑 椎ノ峯窯
中里裕一郎

佐賀 伊万里市南波多町府招1119
TEL/0955-24-2500

天草大陶磁器展に参加し、いろんな刺激をうけ、まだまだやれることがあるのではないかとチャレンジ中です。

G105 怜工房
紫牟田涼子

熊本県天草市本渡町本渡1233-3
TEL/0969-23-9389

今年の新作をと、四苦八苦しながらも長く使っていただける作品を取り組んでいます。今年もご来場、楽しみにお待ちしております。

G106 陶房児玉・尾鈴焼
児玉清明

宮崎 児湯郡都農町大字川北16302-2
TEL/0983-25-1335

今回も参加させていただくことに、うれしく思います。皆様とのふれあいを大事にして、お会いする日を楽しみにしています。

G107 苓南窯
金澤一紀

熊本県天草市北原町5-14
TEL/0969-22-3393

天草市北原町の障害者支援施設　苓南寮にて1980年に開設、信楽粘土で日常的に使える食器をはじめ、自助食器やお玉箸立て等工夫を凝らした製品を形にしています。当施設敷地内の販売所にて展示販売を行っておりますので、お気軽にお立ち寄り下さい。

◉ダンスパフォーマンス「Rinne」

ひびのこづえ×浅沼圭×高岡沙綾×川瀬浩介

巨大な魚が現れ海に誘う。海藻が波に揺れエビや夜光虫が戯れる。もっと目を凝らすと小さなプランクトンが漂い、それはいつか宇宙へと広がって行く。ひびのこづえの海から広がり生まれた不思議な衣装と川瀬浩介の歌を軸とした音楽を二人のキュートなダンサー、イギリスにてダンス留学経験を持つ高岡沙綾と新体操で鍛え上げた身体を持つ浅沼圭が踊る。

（上演時間30分）

【パフォーマー】浅沼圭・高岡沙綾　【音楽】川瀬浩介

【衣装】ひびのこづえ

日時：①2019年11月1日（金）18：00～
　　　②2019年11月2日（土）13：00～
会場：天草市民センター ホール
定員：各回250名
前売りチケット：1,000円（当日券 1,500円）
未就学児で大人の膝上など座席を利用しない場合は無料
申込：下記窓口までお願いいたします。

◉ワークショップ「ちいさな生きもののブローチを作ろう」

日時：①2019年11月2日（土）14：30～17：00　②2019年11月3日（日）10：00～12：30
会場：天草市民センター 大会議室
参加費：1,500円（材料費込）　定員：各回60名　参加資格：5歳以上
小学生以下の方は保護者とご一緒にご参加ください。見学のみのご参加は不可。
申込：下記窓口までお願いいたします。

◉SHOP「ひびのこづえ THE SHOP LIMITED」OPEN

天草大陶磁器展期間中、天草本渡市民センター展示ホールロビーで、ひびのこづえデザインのハンカチ、アクセサリーのショップがオープンします。

プロフィール

ひびのこづえ	静岡県生まれ　東京芸術大学美術学部デザイン科卒業。コスチューム・アーティストとして広告、演劇、ダンス、バレエ、映画、テレビ、展覧会など、多岐にわたる場で発表。97年作家名を内藤こづえより改める。NHK　Eテレ「にほんごであそぼ」のセット衣装を担当中。野田秀樹作・演出の舞台衣装多数。2017奥能登国際芸術祭参加。「ちいさな生きもの研究所」ワークショップを毎月、渋谷LOFT　6階で開催中。
浅沼　圭	東京都国立出身、立川市育ち。昭和ギリギリに生まれる。新体操では、国内外で多数の成績を収め、北京オリンピック新体操強化選手に選出された。引退後、海外のコンテンポラリーダンスに興味を持ち2015年、森山開次との出会いを機に舞台に立ちはじめ、現在は、旅をはじめ、フリーランスで舞台・映像作品等の出演、アーティストとコラボ企画、振り付け、ワークショップ、作品創りなどさまざまなジャンルで活動している。主な出演作品に新国立劇場森山開次：『サーカス』『NINJA』、オペラ『ドンジョバンニ』、串田和美：作『メトロポリス』がある。
高岡沙綾	英国Rambert School卒業後、英国内外にて活動。現在は拠点を日本に移し、自身の作品も展開中。Daniel Heys 東京所属。過去に参加したプロダクションに、English National Opera,IMMERSIVE CULT,Pagrav Dance Company,月灯りの移動劇場、奥野衆英日本ツアー、MISIA 20th anniversary tour などがある。
川瀬浩介	1970 年 京都生まれ 東京育ち　02 年、《Long Autumn Sweet Thing》を発表し美術家としてデビュー。10 年、第13 回文化庁メディア芸術祭に代表作《ベアリング・グロッケン　II》が出展され話題に。森山開次《サーカス》《NINJA》の音楽を担当。「あなたの心に眠る感動を呼び覚ますこと――それが私の使命です」

チケットのお求め先・お問い合わせ…
丸尾焼（北原町 0969-23-9522）／天草市経済部産業政策課（0969-23-1111 代表）
天草市民センター（東町 0969-22-4125）／天草宝島観光協会（中央新町 0969-22-2243）でも購入できます。

観る聞く学ぶ　天草大陶磁器展には多くのゲストが訪れ、講演を行ったり舞台を上演するなど、毎年多くのイベントを開催しています。陶芸とは無関係と思われることもありますが、イベントの骨格には知的探究心を満足させる何かが重要であり、刺激に満ちた空間を創ることがもっとも大切だと考えています。多様性は雑多な人が居住する都市部には当たり前に存在しますが、地方においての情報や価値観はともすれば画一的になり、モノラルな考えが場所を支配したりします。異なる視点を持つ人の話を聞き、今までや今、自らや地域を考える。それが今からの地域や自分を考える鍵になると思います。「今年はどんなゲストがみえるのですか？」最近は楽しみにしている人が増えてきました。異なる背景を持つ多彩なゲストが、今年も天草にやって来て、講演や舞台を展開します。今を感じる人たちの、メッセージを感じていただければ幸いです。

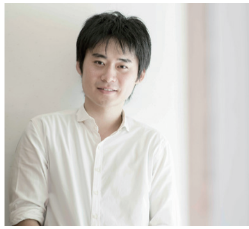
11/2 土
10:30～12:00

基調講演「陶磁器の島づくり」産地をどう作りあげていくのか

天草市民センター 展示ホール　※チケットのお求め先は下記赤枠内をご覧ください。

天草陶磁器の島づくり協議会 会長 **金澤一弘**

入場無料 整理券が必要となります



11/3 祝日
13:00～

数学の演奏会 計算と無常

天草市武道館1階 柔道場

11/4 振替月
10:00～

対談 ミシマ社代表 三島邦弘 聴し合う神々

「さばく（捌く、裁く）」時代から「ゆるす（聴す）」時代へ

天草市民センター 大会議室

前売りチケット
各2,000円
（当日券 2,500円）
2回講演チケット
3,000円
チケットのお求め先は下記赤枠内をご覧ください。

独立研究者
森田真生

「さばく（捌く、裁く）」時代から「ゆるす（聴す）」時代へをキーワードとして混沌とした今の時代をどう生きていくのか様々な視点から、今最もホットなトピックについてじっくり語っていただきます。

1985年、東京都生まれ。独立研究者。東京大学理学部数学科を卒業後、独立。現在は京都に拠点を構え、在野で研究活動を続ける傍ら、全国各地で「数学の演奏会」や「大人のための数学講座」などライブ活動を行っている。2015年10月にデビュー作「数学する身体」（新潮社）を上梓。2016年、同書で第15回小林秀雄賞を受賞。

11/4 振替月
13:00～14:30

講演会 紙はどこから来たのか、どこに行くのか

入場無料 整理券が必要となります

天草市民センター 展示ホール　※チケットのお求め先は下記赤枠内をご覧ください。

水俣浮浪雲工房
金刺潤平

金刺潤平氏は紙漉きの技術はもちろんのこと、紙の歴史や分布についての知識が豊富な方です。今回は紙がどこで発生し、どこに向かおうとしているのかを公演していただきます。

1959年静岡県沼津市生まれ。1984年故石牟礼道子さんの薦めで紙漉きと出会い、土佐和紙の大川昭典さんに師事し、水上勉さんからものづくりの姿勢に影響を受ける。2007年イ草壁紙の開発でものづくり日本大賞優秀賞受賞、2015年平成天皇皇后両陛下のグリーティングカード制作、アマゾンをはじめ海外での活動多数。

11/4 振替月
15:00～16:30

講演会 廃刀令後に求められる豊かな物作り

入場無料 整理券が必要となります

天草市民センター 展示ホール　※チケットのお求め先は下記赤枠内をご覧ください。

肥後象がん
稲田憲太郎

肥後藩の装飾の一つとして栄えてきた肥後象がんは、武士の存在がなくなってから、様々なものを作ってきました。稲田さんは若い象がん師として活躍中で、何をつくるのか熱く語っていただきます。

1976年熊本県生まれ。19歳で肥後象嵌師の河口知明氏に弟子入り、7年間修行の後、27歳で独立。伝統工芸肥後象嵌の技術を活かし、オーダーメイドを中心に制作活動中。異業種とのコラボを通じて幅広い年代への肥後象嵌の展開を模索している。また近年は地元・熊本での肥後象嵌教室に加え、国内外でのワークショップで「伝える」活動にも力をいれている。

「大坊珈琲の時間」を愉しむ in 丸尾焼 Vol.5

大坊勝次

11/3 祝日・4 振替月

前売り
チケット 2,000円
2種類の珈琲が楽しめます。

丸尾焼 展示室
11/3（日）…
①10:30～11:30 ②13:00～14:00
③14:30～15:30 ④16:00～17:00
11/4（月）…
①11:00～12:00 ②13:30～14:30
③15:00～16:00（両日各回10名）

大坊氏の来島は今年で5回目となります。「コーヒーカップとコーヒー」というテーマを、陶磁器展で取り組み始めた時より、大坊珈琲を淹れていただく企画をたてました。今では九州はもとより、関東からも大坊珈琲を飲みに来る珈琲ファンが出てきました。大坊氏が珈琲をいれ始めると、凛とした空気が漂い、言いようのない緊張感が訪れます。珈琲を飲むというよりも、人生を飲み干すのだという感傷が胸をよぎる瞬間でもあります。この機会にぜひ大坊珈琲を体験してください。

※各回10名の珈琲を準備しております。数に限りがございますので、お早めにお申し込みください。お申し込み・お問い合わせは丸尾焼まで。TEL.0969-23-9522（9:00-18:00）
※見学のみは無料です。大坊さんが淹れる珈琲を飲む場合は事前申し込みが必要です。※チケット購入時に日時をご指定ください。

工房珈琲 Kim・Café

金憲鎬

11/3 祝日・4 振替月
11:00～16:00

丸尾焼 工房

1杯 500円 スイーツ付

キム・ホノ氏は大坊氏の珈琲をいれる姿を見て、人生の導を見つけたとのことでした。大坊氏を天草に誘って頂いたのもキム・ホノ氏。大坊氏と同じフィールドで珈琲をいれたいというのもキム氏の希望でした。キム氏は珈琲の器に対するこだわりと同じく、珈琲に対する思いがとても強い陶芸家。大坊氏とキム氏の珈琲に対する想いを同時に飲めるのは、今年は2日間となります。

入場整理券・チケットのお求め先　丸尾焼（北原町 0969-23-9522）／天草市経済部産業政策課（0969-23-1111 代表）
※当日券もございます。当日券は会場受付にて開演30分前より配布いたします。

講演会 お問合せ先　丸尾焼 熊本県天草市北原町3-10 TEL 0969-23-9522 FAX 050-3488-9252

行列のできる天草A級グルメ屋台村
天草のうまいもんが大集結！物産展

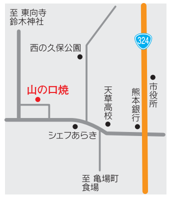
珊瑚礁	いちおし カレーライス	600円～
嶋田屋	いちおし チャンポン・カラアゲ	300円～500円
(株)天草大王公元	いちおし 天草大王からあげ	500円
食の天草 にじ	いちおし あまくさ晩柑＆濃い生姜	1,480円
高良寿司	いちおし ウナムス・コノシロバッテラ	600円～1,000円
(株)丸健水産	いちおし うにコロッケ	1個 300円
(有)うまかや	いちおし いなり・巻寿司	500円
松岡水産	いちおし 塩干魚・海鮮唐揚	400円～
天草崎津水産	いちおし たこ焼き・からあげ チーズハットグ・ポテト	300円～
伊勢元	いちおし 押包丁	500円
DINING BAR 笑笑	いちおし 塩やきそば	500円
トラットリア ヴィア チェントロ	いちおし ピッツァ	1,000円
花暦	いちおし 馬スジ丼 等	500円
天草ゆうゆう	いちおし 餃子・しゅうまい	600円～1,000円
ゆかりや	いちおし クレープ・コーヒー	300円～
醍醐	いちおし 弁当・惣菜類 他	200円～500円
植田食品	いちおし ご飯・団子	300円～400円
福砂屋	いちおし 天プラ蒲鉾	100円～500円
こつぶや	いちおし 天然酵母パン・焼菓子	200円～500円
鳥蔵	いちおし 天草大王炭火焼き	1,000円
肉のダイニング ばんめしや天草	いちおし 上カルビ丼	500円
B.L.T@amakusa	いちおし 天草フィッシュバーガー	700円

■ 窯元ギャラリー 天草大陶磁器展期間中も営業いたします。

丸尾焼
営業時間10:00～18:30
北原町3-10
TEL.0969-23-9522

水の平焼
営業時間10:00～18:00
本渡町本戸馬場2004
TEL.0969-22-2440

山の口焼
営業時間10:00～18:00
本渡町本渡1755-3
TEL.0969-24-2072



■ チェーンソーカービング

天草市民センター・エントランス

11/1（金）・4（振替 月） 10:30～11:00 13:00～14:30
11/5（火） 10:30～11:00

チェーンソーカーバー　木　一吉（きいちきち）…1957年生まれの天草市楠浦町出身。フィギュアの原型師として「ハマハヤオ」でも活躍中。各回1体を制作し来場者へプレゼント！

■ オープニングセレモニー テープカット

【11/1日（金）】
9:00～

天草市民センター・エントランス前

■ 下浦石工の会作品展

天草市民センター・エントランス

下浦石工の会によるアンコール遺跡群のパネル展示及び小物展示

■ ワザワザ天草

11/2（土）・3（祝 日）・4（振替 月） 10:30～ 14:30～

天草市民センター・エントランス

今も継承される業や匠の技を披露します。

天草の芸能

11/2（土） 11:00～ 4（振替 月） 11:00～ 13:00～

天草市民センター

天草の様々な芸能をゲストにお招きし、ご堪能いただきます。

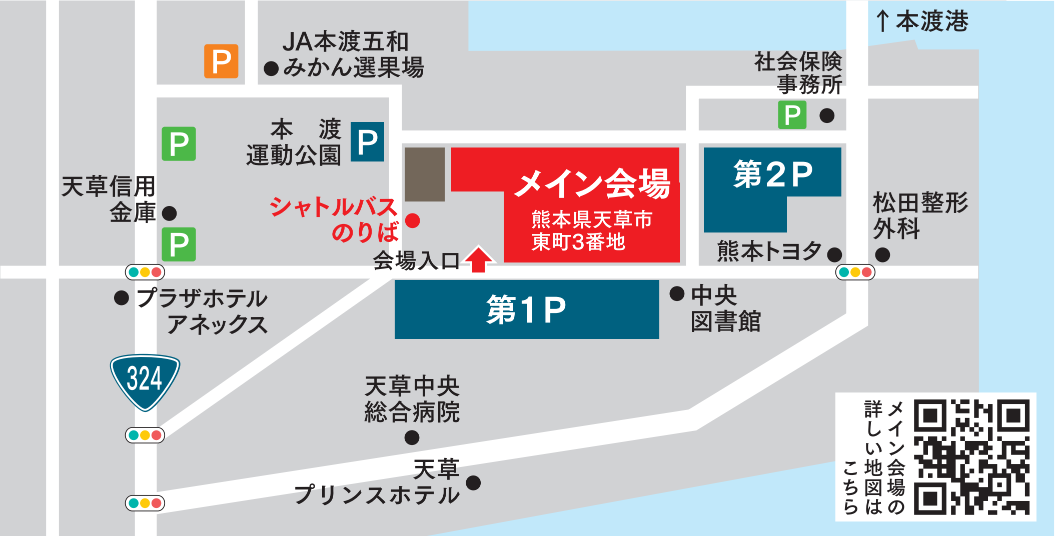
●ハイヤ踊り ●郷土芸能 等

■ 天草大陶磁器展 お楽しみ抽選会

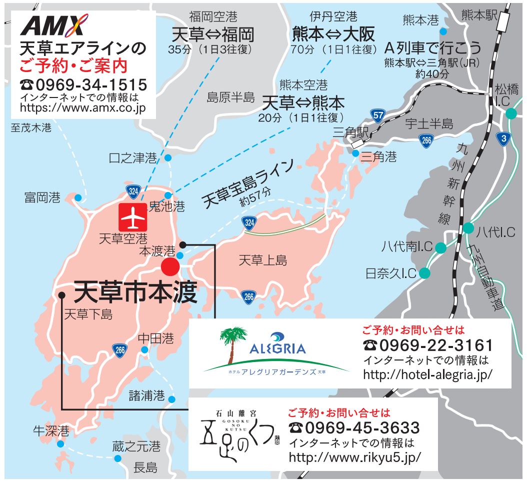
協賛／ AMX AMAKUSA AIRLINES　石山離宮 五足のくつ　ホテル アレグリアガーデンズ 天草

期間中、特設会場内にて3,000円以上お買い上げのお客様に天草陶磁器をはじめ、五足のくつ宿泊券、天草エアライン（福岡～天草）往復券、ペルラの湯舟入浴券、参加各窯元の陶磁器など抽選で当たります。

■ 天草市民センター周辺拡大図



P…11/1日（金）～5日（火）期間中毎日駐車可　P…11/2日（土）・3日（日・祝）・4日（月・振替）のみ駐車可
P…11/2日（土）午後・3日（日・祝）・4日（月・振替）のみ駐車可



AMX
天草エアラインのご予約・ご案内
☎0969-34-1515
インターネットでの情報は
https://www.amx.co.jp

ALEGRIA ホテル アレグリアガーデンズ 天草
ご予約・お問い合せは
☎0969-22-3161
インターネットでの情報は
http://hotel-alegria.jp/

石山離宮 五足のくつ GOSOKU NO KUTSU
ご予約・お問い合せは
☎0969-45-3633
インターネットでの情報は
http://www.rikyu5.jp/

天草の観光・宿泊案内は
天草宝島観光協会へ ☎0969-22-2243

天草大陶磁器展 シャトルバス

11/2（土）・3（祝 日）・4（振替 月）
臨時駐車場からの無料シャトルバス

天草市民センター周辺の駐車場が満車の場合、ご利用ください。係員がご案内いたします。

天草大陶磁器展会場 と
熊本県天草広域本部駐車場
を結ぶ **無料シャトルバス** が運行。

熊本県天草広域本部駐車場	⟷ 約5分	天草大陶磁器展会場

9:30～17:00 30分ごとに運行いたします。

※シャトルバスご利用のお客様、お一人に1枚、ガラポン抽選券を進呈いたします。

第19回 あまくさ丼丼（どんどん）フェア

【11月30日（金）まで参加店で開催中】

天草だからとれる超新鮮な食材を天草の誇る陶磁器で訪れた方へ精一杯のおもてなし

お問い合わせ先 (一社)天草宝島観光協会 TEL 0969-22-2243 ※詳しくは、あまくさ丼丼フェアのパンフレットをご覧ください。

■ 本渡諏訪神社例大祭「本渡の市」【10月31日（木）～11月7日（木）】

諏訪神社周辺が秋祭り一色に染まります！
様々な祭典・催し物・秋季体育祭行事等がございます。

■ 小学生の作陶体験作品展示

【10月26日（土）～11月10日（日）まで】

天草文化交流館・2階展示室 AM9:00～PM5:00

市内の小学校高学年の児童約700人が作った作品を展示します。

11/4【月】

近藤良平の天草ごはん

in 天草市民センター ホール

日本では天草でしか見られない
スペシャルなソロ公演をお楽しみください。

■チケット代 全席自由 **2,000円**

開場17:45　開演18:00
お問い合わせは丸尾焼まで
TEL.0969-23-9522(10:00〜18:00)

近藤良平氏 プロフィール…
コンドルズ主宰でコンテンポラリーダンサー。舞台、TV、ミュージシャンの振り付けなど、その活動はジャンルを超えて大きな広がりを見せています。

チケットのお求め先…丸尾焼（北原町 0969-23-9522）／天草市経済部産業政策課（0969-23-1111 代表）

ボタン

+botão 〜天草ボタン〜 INOUE YUMI 井上 ゆみ

ボタン作家。INOUE YUMIが天草陶石で作った磁器のボタン「天草ボタン」は、抜群な強度と透明感のある白さが特徴。形成から絵つけと一つひとつ手づくりの二つとないボタンたち 。

染め物

MEGURI ISLAND COLOURS 光永 綾子

夕刻の燃える向こう岸…青く銀に光る田んぼの鏡…
天草の…ときおり目を奪われる色に魅了されている『染め物屋Meguri』です。
草木の色の景色が感じられるといいな…と思い、願い日々を染めて
色一つで　心も楽しくなるものです。この秋はどんな色に染まるのでしょうか
すべては祝福　blessed

ガラス工芸

ガラス工房カリヒロ 假屋園 宏道

自分が日頃見たり感じたりした自然や生き物などを、作品に取り入れて表現しています。

香り/ボタニカル/癒し

ハイビーチリラックス 黒沢 三穂

自然豊かな土地からの恵みをお裾分け頂き、天草の植物や果皮や樹木から香りを抽出しています。天草の歴史やいい伝え、それらを物語にして香りを創り出す。天草時間を感じ、愉しむひとときであります。新しい天草フレグランス、香愉、オリジナル精油をお届けします。日替わりワークショップもお楽しみに。

木工

DRAMA STUDIO 吉田 健吾

上天草にある野釜島で木の器やオブジェを制作しています。
そばにあると心地良さそうで、少しずつ馴染んでいくようなもの。
暮らしを豊かに彩る表情豊かなものを出展します。

版画（木版画）

大西靖子

生まれ故郷の神奈川を離れ30数年。天草の自然に囲まれて創作活動をしている大西靖子氏の作品を展示します。
自然を通して心に現れてくる世界が木版画、パステル画で表現されています。天草を深く感じて頂けたら幸いです。

革細工、木工

magokoroshoten 山田 紘平

革、木材、廃材を中心に使用し"永く使える優しい物作り"をコンセプトに様々な物を制作、販売しています。
今回から岡山からの出店です。天草に帰ってこられてとても嬉しいです。
ものを大切に、新たに生かし、永く使って頂けるよう、氣の向くままにまごころ込めて。
ゆっくりのんびりと日々製作活動中。

革作家・デザイナー

hibitasu 明石 大樹

財布や名刺入れはもちろん、インテリアにも使える革小物を展示します。

フィージングステンドグラス

The Graces Lab 倉住 多恵

福岡県宗像市のアトリエにて、ステンドグラスのワークショップと、フィージングステンドグラスの制作をしています。懐かしいレトロガラスを使ったlampやガラスを溶かして作るアクセサリー。毎日の暮らしにさりげないトキメキを…をコンセプトに好きを形にする活動をしています。

会場 2階

天草伝承のおんぶだっこひも「もっこ」

MOCCO FRIEND 鹿島 久世

今年も大阪よりもっこの故郷、天草へ感謝の気持ちをこめて"アマクサローネ"だけの手作りワークショップを行います。だっこもでき赤ちゃんの体幹も鍛えられる多機能なもっこを再認識してください。販売コーナーでは子どものままごと用こもっこや犬猫用わんにゃんもっこも御用意。イベント割引価格でお待ちしています。2日・3日・4日のみの出展となります。

会場 2階

木工品等

天草ヒノキプロジェクト

昨年初めて出展させていただきました。今年も様々なアイテムを販売しますので是非お立ち寄りいただき、ヒノキの香り・ぬくもりを感じてください。

会場 2階

イラスト・雑貨

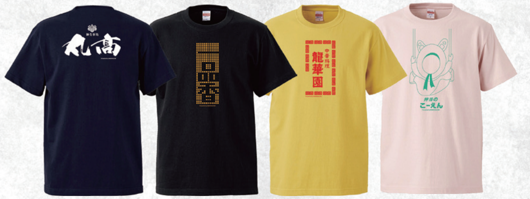
Design Heart 山下 真由美

庭に咲いた花を一輪
「ありがとう」と言って摘んできて
器に生けて飾るように
思いついてサラサラと
何気無い、気負わない絵を描いてみようと思っています。

「天草＋サローネ＝アマクサローネ」サローネとは見本市のこと。わたしたちが生きるという事のその中には誰かが作った無数のモノがありそれを取り巻く環境、思想がある。それぞれのより良い暮らしを求めて人は工夫し努力し、何かを探している。アマクサローネは、人々の暮らしの中を取り巻くモノ、そして営みの中の行為に焦点を絞り誰かの生活に寄り添っていけるモノ、そして新たな日々が始まるようなコト等を紹介する。それは誰かが探しているモノ、コト達の見本市。

天草の名店Tシャツ数量限定販売

Presented by AMAKUSALONE



アマクサローネの第二の母親？嫁？私たちの胃袋をいつも虜にしてくれる天草の名店がTシャツになりました。アマクサローネ限定で販売します。

①丸高Tシャツ（ネイビー）
②一品香Tシャツ（ブラック）
③龍華園Tシャツ（バナナ）
④こーえんTシャツ
（ベビーピンク）

S･M･L･XL
各3,300円（税込）

絵

あやかし堂 松本 将英

令和になって、1回目のアマクサローネ。あやかし堂は変わらず妖怪の絵を描いてます。妖怪の住む街「バケモノ憑市」の元号も「霊和」に変わりました。今年も「バケモノ憑市」に生活する妖怪たちの様子をご覧ください。

今回のパンフレット、アマクサローネの表紙イラストは、第二回目から毎回出展作家、ミスター・アマクサローネこと、あやかし堂店主マツモトマサヒデの手によるもの。
バケモノ憑市の天草四郎です。あやかし堂の手にかかれば天草四郎だって現代にイキイキとうごめく妖怪に！

バイク

Switch Stance Riding 小坂 俊之

天草から世界のオートバイ文化を観る。実際にそこに行き、そのイベントに参加させて頂いています。去年はイタリアのMonzaから始まり、スイス、ロンドン、ベルギー、フランクフルトなどをレースやエキシビションで周り、今年はauerberg klassic Race から、招待を受ける。9月14日、15日のイベントに参加。実車を展示して、写真を展示させて頂きます。どうぞご覧ください。

写真

錦戸 俊康

天草で暮らす人々や光景を撮影しています。そんな写真達を手前勝手に更新している「NEIGHBORS」シリーズを選り抜きし会場各所に展示します。どうぞ宜しくお願いいたします。

クラフト工芸

うららlabo 浦田 絹代・志穂

紙素材のかごやバッグを中心とした雑貨を作っています。時間と心を込めて全てがオリジナルデザインの一点モノです。タグもこだわりの活版印刷製。

点字アート

ブレイルフレンド 加藤 英理

ブレイル（braille）は、英語で点字のこと。
ブレイルフレンドは、熊本市を拠点に、点字モチーフのアート作品製作や点字グッズ販売、点字関連のイベントをしています。
アマクサローネでは、点字ポストカードやアクセサリー販売や点字体験ワークショップをします。

木工

木工房 菜の花 岡部 芳典

南阿蘇で、木目や色あいなど、木の特徴を生かした、家具・時計を作っています。今回は、スプーンをメインとしたカトラリーを出展します。色々な木のスプーンは、金属とは違う口あたりです。木のあたたかさを感じていただけたらと思います。

木(竹)工

アトリエ・クロ 嶽本 京一

前回にひきつづき、竹の人形と犬を作りました。

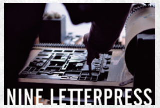
手工芸

天草きぼうの家 篠木 小百合

天草の自然をイメージした手織物、「天草さをり織り」は、障がい者の手によって産み出されています。職員や縫製技術者も協力して、「天草さをり織り」から様々なおしゃれ雑貨を製作しています。
新作もお楽しみに！

活版印刷

NINE LETTERPRESS 長島 裕介



ドイツ人ヨハン・グーテンベルクがぶどう酒のしぼり機をヒントに印刷機を発明。その後150年の時を経てヨーロッパを旅した天正少年使節が日本へ持ち帰り、1591年に長崎の加津佐から熊本県天草へと活版印刷は伝わりました。
活版印刷のポスターなどなど販売します。ごめんなさい。今年はワークショップありません。

会場 2階

生活雑貨

あまくさの里 みかん山 田中 尚子

五和町の小さな山で生まれ育ち、家族の育てるミカンと山の自然を、人に喜ばれるものへカタチを変えてお届けしたい。そんな想いで手づくりしています。天草ばんかんを蒸留して作ったエッセンシャルオイルや消臭スプレー、おそうじ用スプレーなど、100%天然成分で作った商品はお子さんにも安心してお使いいただけます。ママにも嬉しい生活雑貨をお持ちします。

会場 2階

詩

森本 千佳

去年なんだかわからないと言われたり共感されまくったりした「ガチャポエ」を今年も置きたいと思います。そばにいたら是非朗読させてください。

会場 2階

本

本屋と活版印刷所 あまくさ民藝舎

原点回帰の出版社ミシマ社 三島邦弘氏ご来島！

トークライブ準備中の本屋と活版印刷所です。アマクサローネのイベント、寺子屋ミシマ社天草編がきっかけで、今年4月中央新町にオープンしました。店内はミシマ社全巻やあまくさ民藝舎の本、屋根裏booksの古書などが並ぶ本棚の横で、古い活版印刷機が回り、印刷したポスターも並ぶ小さなお店です。会場には一冊の本ができるまでを紹介するコーナーも！どうぞよろしくお願いいたします。
※トークライブの詳細は手配りチラシやSNSでお伝えします。

第12回

アマクサローネ

2019
11/1（金）·2（土）·3（日）·4（月）·5（火）

天草市民センター

AM9：30〜PM5：00（3日はPM8：00まで 最終日 5日はPM4：00まで）

詳細はホームページでご確認ください。http://amakusalone.com アマクサローネ🔍